

企画名：大学へ行こう！第3弾

～技術者の仕事の面白さを伝えに行こう～

日時：平成21年11月11日（水）9:00～10:30

会場：北海学園大学工学部社会環境工学科

講師：青技交幹事：永井登茂美氏、滝澤嘉史氏、山本太郎氏

参加者：約70名（先生・青技交幹事含む）

企画概要：

この活動はこれから社会に出て技術者となる大学生達に、技術者として働く楽しさを若手技術士から伝えようという企画で、昨年開始し、今回で3回目、北海学園大学での開催は2回目となります。

学生さんが眠くならず、理解しやすい内容となるようハードとソフトの両極端な話題、両極端なキャラクターの講師による講演を行いました。

はじめに永井幹事より技術士について以下のような内容で簡単な説明を行いました。

1. 技術士とは？
2. 技術士資格は必要か？
3. 技術士資格は何の役に立つか？
4. どうすれば技術士になれる？

次に、土木の仕事について、施工管理と設計手法の観点から、滝澤幹事による土木ど真ん中の講演です。身の回りの土木構造物とその役割・重要性を紹介し、学校で勉強していることの役立て方、地図に残る仕事へのやりがいについてお話いただきました。



続いて、河川の調査・計画の仕事について、山本幹事による1つ目の講演とは対照的なソフト

な内容の講演です。河川の不思議な構造物についてのテンポの良い説明と、洪水対策と環境保全の両方の視点で河川環境をどのように考えていったかをお話しいただきました。皆さん眠らずに、とても真剣に聞いていました。



最後に質問コーナーです。参加した約50人の学生達から各講演に関する質問を受け付け、「新入社員で現場に出た時の戸惑いは？」「どうして今の職場を選んだのですか？」「防災と自然で優先させるとしたらどちらですか？」「自分の子どもに土木の仕事に関わってほしいですか？（超難問！）」など、鋭い質問、回答に苦慮するものがありました。学生の皆さんと対話しながら講師以外の幹事も交えて回答していきました。

講演後、簡単なアンケートを実施しました。結果は以下のとおりで大変好評でした。講義時間を提供して頂いた社会環境工学科嵯峨教授からも「社会でバリバリ働く人の話は学生が就職を考えるのにとっても参考になる」との評価を頂いています。

【アンケート結果】

- Q1: 講演はおもしろかったですか？
 → 非常に面白かった(62%)、面白かった(32%)
- Q2: 技術士について理解は深まりましたか？
 → 非常に深まった(40%)、深まった(55%)
- Q3: 講演は役に立ちましたか？
 → 非常に役に立つ(51%)、役に立つ(47%)

講義内容も回を重ねるごとにレベルアップしています。青技交では、次世代の技術者・技術士の育成の一助となるよう、今後もこの活動を続けていきたいと考えています。

（文責：青年技術士交流委員会 永井登茂美）